

## 来入児一日入学

麻績保育園ひまわり組の皆さんが27日(木)体験入学のため小学校を訪れました。5名の1年生が校内の案内をしたり、「びゅんびゅんごま」の工作にともに取り組みました。明るく元気な来入児の皆さん、4月の入学が楽しみです。一方で、お兄さんお姉さんとなる1年生の皆さんは、とても頼もしかったです。来入児は20名なので、1年生1人が4名を案内することとなります。校内あちこちで、来入児4名に気を配りながら歩く1年生と出会いました。誰もが笑顔で優しい言葉かけをしながら、時折立ち止まっては、「ここは〇〇の勉強をする部屋なんだよ」「トイレを使ったら、スリッパをそろえるんだよ」など案内役を立派に果たしていました。



お兄さんお姉さんの顔の1年生

来入児の皆さんに小学校の雰囲気を感じ取ってもらう大切な機会となりましたが、1年生の皆さんがいよいよ2年生のお兄さんお姉さんに進級するその意識を高めたり心構えができたりするととてもよい機会にもなっていることを感じました。皆が一步大きく飛躍するであろう4月がいよいよ楽しみです。

## 今年度最終授業参観 ありがとうございました

ぼくのゆめ

4年 Kさん

ぼくが生まれてから今日までたくさん大変なことがあったと思います。それでもぼくのことを大切にそだててくれてありがとうございました。ぼくはおぼえていませんが、お母さんはどんな思い出がうかんでいますか。きっと大変な思い出しかないと思いますが、ぼくの頭の中には、楽しい思い出しかありません。それはきっと、お母さんのおかげだと思います。…

これは、4年生の「二分の一成人式」で発表された作文からの抜粋です。「お母さんのおかげで、自分には楽しい思い出ばかり」というこの言葉に、わたしは胸が熱くなりました。

4年生が10歳を迎える今、成人式までの半分の年月を歩んできたこととなります。誕生から今日まで、大きな大きな成長を遂げてきた子どもたち。これからの半分は、次第に親御さんの手を離れて独り立ちできるように歩む道のりとなります。そうは言ってもまだ当分の間はお家の皆様に温かく見守っていただきな



がら、多くの経験を積んでいく子どもたちです。そんな節目の10歳に、自分をしっかり見つめて、周囲の方への感謝の気持ちを伝える、自分の将来像を具体的に思い描く、とても大切な機会であったことと思います。

1年生は、入学以来小学校で身につけたり学んだりしてきたことを一人ひと



り丁寧にお家の方に伝えました。また、学校で描いた絵画作品を、直に保護者の皆様に観ていただく機会も設けていました。

2年生は、自分が生まれたときの体重と同じ重さのお米を背負って生活して、お母さんの大変さを体験したうえで、育ててくれた感謝の気持ちを伝える機会を設けていました。

3年生は体育の学習発表に絞り込んで、

マット、跳び箱、大縄跳びなどの発表を行いました。大縄跳びについては、また前回からの記録更新となったようです。

5年生は、田んぼの学習で学んだことや、各教科で学んだ今年一年の成果を発表しました。また、自分の目標を漢字一文字にこめて発表したり、金管バンドで取り組んでいる曲のグループ発表をしたりしました。



どの学年も、それぞれのスタイルで、学習の成果や自らの成長を振り返り、保護者の皆様とともにそれを確かめ合う機会となっていました。

本日(22日)の6年生参観をもちまして、各学年の本年度最終の参観日が終了となります。兄弟関係があり、複数日ご来校いただいた保護者の方も多いかと思います。でも、そのお陰様で子どもたちはときどきしながらもご期待に応えようと精一杯頑張ることができました。お忙しい中のご参観、本当にありがとうございました。来年度も、ぜひまた学校にお越しくださるようお願いいたします。

## 児童会新役員紹介

20日(水)児童会各委員会三役について全校児童に紹介する集会がありました。どの委員会もぴったりの人



選に思われますし、何よりもこれから児童会をリードしていこうという決意が感じられて、頼もしい限りです。そして休み時間に担当職員のところに打ち合わせに来る機会も増えつつあります。まずは、当番活動の引き継ぎを確実に、そして3月1日に迫る「6年生を送る会」の準備から活動開始でしょうか。大忙しの5年生の皆さんです。